



発行所 西蒲原郡 卷町公民館 編集人 保刈郡司 印刷所 昭和時報社

討論による自治の振興

卷町公民館長 齋藤順作

昨年十一月三日「文化の日」に県の指定公民館の一つとして卷町公民館も選ばれた事は、其の時御報告しましたが、其の時一ヶ年にわたる研究題目を命ぜられ、審議会の承認を得て、標題のようなものを選定し、一年後の先月上旬報告しました。町の方々にも御報告し御叱正御指導を願う次第であります。

× × × × ×

優良指定公民館研究課題報告書

一、研究課題として「討論会」を選んだ理由、私たちの町に皆で町立中学校の敷地について苦い経験を重ねた、それは敷地についての総てのことが決定し完了し、更に着工しようとした矢先、「更によき処がある」と町民の一部から叫ばれ数ヶ月間全町をあげてその紛争に捲かれてしまったのである。この様な事を二度と繰り返さない為には町の問題は町民一人一人の問題として「知つて貰い」「考えて貰い」更にその考えを町理事者、議会にも知つてもらわねばならない。一言にして言ば、われわれはよき「ダウンミーティング」持たねばならぬ。そして其の仕事は当然公民館の重要な任務である。

おこした。そしてこの中に講師の候補者を数名加えて、その諸否の返答も頂いた。
(例)「討論会」を続けていくうちに会衆の時には講師も問題の中心をつかんでいないのではないかと思われ、そのような事があったので更に「ものをきく会」を特に別持ち必要なる智識と理解を得ようとした。

三、評價反省

一年をふり返つてみると今のところ明示し得るようなよい影響は認められない。むしろ現在これと言ふ問題もない為か「討論会」自身沈滞し勝ちでありわれわれの夢みたダウンミーティングは尙遙るか彼方にある。これは或は事前にわれわれの宣伝がなされなかつた為かも知れない。併しわれわれはむしろ「討論会」自身に依つて分つて頂ふと思つてわれわれの目的を云々しなかつた。

(例)この一年間公民館関係者以外から「討論会」への注文(題目も講師も)は一つもなかつた。この事は「討論会」が公民館の主催のものであるにすぎない、まだ町民のものになりきつていない証拠であらう。

最も残念の事は町当局或は議会からもその事がなかつたことである。併し葉書によつて講師になると承諾された人は計十七名に上つた。
(例)講師は勿論さうであらねばならないが、会衆の質問も尙固苦く演説をぶつていくかと思われ、ことすらありダウンミーティングにふさわしい和さ、「まじめ」さは稀にかみられなかつた。

(例)「ものをきく会」の質問者も予め用意されてるかと思はれるもののみ多く、直接講師の話によつてひき出されたと思はれるものは少なかつた。

(例)誰でもが簡単に答えられる様な問題はそれを纏めて十分なり十五分なり話すことが困難のためか講師になり手がなく休まればならなかつた。(公民館、町民運動会の問題)
(例)専門的問題については講師に不自由はなかつたが会衆は不足にならざるを得なかつた(国保、青少年犯罪等の問題)
併しことうゆ問題は質問も一般に「まじめ」に共に考え様とする空気が強かつた。

(附言)

私は報告書に「明示し得る好い影響は認められない」と書いた。これは一般町民の方々の気持、心構えを意味したのであつて、御異議もあるかと思はれる。
しかし今靜に一ヶ年の「討論会」を並べてみると第一回問題とされ、保育所も出来たし、文庫も小さいながら食生活生活を脱脚した四月末ではないが中学校のグラウンドも野球場も両方とも完成した。廿五年への希望とした中学の屋内運動場も御音高らかに今建築途上にあるし町の劇研もこの秋「文化まつり」に上かく大した波瀾もなく「夕鶴」を上演し得た。更に国保も一般会計からの繰入れと診療費の一部引下げなどで大なる困難もなく続き町民運動会の各区の慰労会も七区八区九区は一滴の酒も一粒の米も用いなかつたと言ふ。其の他停車場通りが舗装され、ガスの配管も出来た。公民館でも専任職員が決つたし、館報も各戸におあげ出来るようになった。勿論いろいろ不愉快などかと思はれることもあるにはあつたが、議会議事者その他いろいろの方々の御力で明る一年ではなかつたであらうか、そして今平和にこの年を送り年を迎え様として。

併しこの巻町も日本の一部であり世

界の一点である。そして世界は隣国朝鮮に於ける争を初めとして第三次世界大戦への口火が燃え様として、情報をちぢんでにげ廻る住民の姿を思い、砲火のトに身を伏せている兵隊の心と思つと「戦争は誰がするんだ」と叫びたくなる。
平和！平和！世界も国も巻も平和であれと念願しつつ昭和廿五年を送る

公民館だより

十一月事業の経過
文化まつり

三、日

一、町民運動会
十日

二、おどりと長唄
十二日

三、野球、卓球、球、球、球
十六日

四、琴(三曲)
十七日

五、婦人の夕
十八、十九日

六、(演劇)夕鶴、水滸棒、鳴神
十八、十九日

七、華道
十八、十九日

八、書画展
十八、十九、二十日

九、日本画展
十一月二十三日

敬老会

卷町公民館婦人会のり会と三者共催で十一月二十三日勤労感謝の上き日を選んで人口一万余の当町在住者にして七十五才以上(明治九年生以前)の方をお招きして巻町の発展を祝ひ過去数十年の御努力を感謝し併てお年寄りの方々を御慰安申し上げた
幸いこの日は稀に見る晴天に招待者の出席もよく長壽の該当者百二十七名中病氣やなにかの都合で当日の出席者は百名であつた。

固定資産税について

固定資産とは不動産(土地家屋)と償却資産(事業用の物件で現在価格千円以上、耐用年数一年以上で所得税法法人税法に経費として算入せられる資産)を言ひ昭和二十七年より完全な課税を行ふことになり、従つて二十五年、二十六年は次の方法に依り課税せられます。

一、昭和二十五年(二五年一月一日所有の資産)土地家屋は貸賃価格の九百倍(畑は千八百倍)が決定価格償却資産は時価に算定した価格が決定額となります。この決定額に1.600を乗じて得た額が税額になります。但し土地家屋償却資産夫々決定額が一万円(二十七年以降は合計が三万円)未満の場合には課税されません。この税額を三期(償却資産二期)に徴収することになり、税額の全国累計が五二〇億に對して増減する税率に變動がありません。

二、二十六年度
二六年一月一日所有の固定資産を一月十日迄に申告しなければなりません。この資産に對して二五年度と同様にして仮決定を行ひ、取合ひず四期徴収を行ひますが本年申が來年早々に固定資産評価員が任命せられこの評価員に依り夫々資産を適正なる時価に評価せられ九月三十日迄にその評価にもとづき価格が決定され十一月一日より二十日迄閲覧に供せらるることになつて居ります。納税者はこの価格に不服があつたならば固定資産審査委員会(委員三名)が設置せられて居りますからこの委員会へ閲覧期間中(この期間を過ぎると異議申立は出来ません)異議申立をして下さい。審査委員会は異議申立によりその価格が適正であるかどうかを決定します。此の様に決定せられた価格に基き税額が精算せられます。償却資産は二十五年より精算せられることになつて居ります。その他の税目については説明を略す。

青年による読書への欲求により誕生した巻町文庫も、早満四年を迎へるその間、設備や位置の問題等種々前途に暗い影を投げた事もあつたが、町民の御協力により設立、頭初僅か百冊足らずの図書も今や二千冊を突破せんとする、名実共に立派な巻町文庫としての陣容を整ひつつある事は嬉しい限りである。経営も青年団と文化会の協同経営から公民館に移り、今や公民館の唯一の社会教育、視覚教育施設としてなくてはならぬものとなつて來た。然して現在の文庫の持つ使命の重大さと、その及ぼす処の影響の大なるを考へるとき、之が経営面に於ても文庫係員の自覚と一層の努力及び経営の工夫を再認識せねばならなくなつて來たのであるまいか。貸本代の徴収こそせぬが、貸本屋的な嗅味が未だ残つてゐるやに見受けられる隙があり、利用者や学生と定まつた一部の青年に留まつてゐるのも巻町文庫が未だ大衆化せず、町民の爲の必要なる機関になりきつてをらぬからではなからうか。この点について係員諸君の層の努力が必要であると思ひ、文庫設立発起人であつた私の見聞して感じた事を一、二述べて参考に資したい。

巻中だより

冬雷が鳴り始めたとき霞が屋根を打つ。山の頂も白くなつた。しかし生徒は元氣一杯である。

みぞれの中に立つて一日一日築かれて行く教室及び運動場の敷地を飽かず眺めている。晴れた日にはたくましい建設の響が空にこだまします。町の方々の熱意と深い愛情のこもつた響である。無言の感謝をこめて皆の喜びがここに集申する。恒例の文化展も芸能祭もすべてを運動場完成の時ゆづつて楽しい希望の日を過して居ります。

ただ一つの大きな行事としては十一月三十日郡の実験校である(生徒を指導する上の基本になる教育計画を郡の教育課程基幹案構成委員会で作成したものを本校の教育計画に如何にとり入れるか、それを実験的に研究する実験学校に今春指定された)巻中の発表会でありました。手狭な校舎で本校としては初めてのこの試みは未熟なものであり失言を施す箇所如何に多かつたかを今更ながら感ずるのであります。学校が一丸となつてわが校の教育目標である。

一、計画をたて、自ら進んで学習しよう。

二、他人と協力して正しく行動しよう。

この二つの目標に向つて和氣満々のうちに実践し得た事は大きな収穫であつたと思ひます。

一、利用者がもつと明るい気持で本當に自分達の文庫であり、自分達の本だと云ふ感じで利用出來得る様に留意する事。

二、公民館の文庫図書購入費の充分の活用を期し、利用者の一層の便宜を計る事。

一、新刊本購入後の迅速なる貸出しを期す事。折角購入した新刊本を一二月もかかつてやつと貸出す様では利用者の欲求に答へる事が出来ぬのみか、利用者をして興ざめさせる。もつと分類を迅速にやらねばならぬ。

一、読書会や図書研究委員会等を設け、読書指導の徹底を計る事。

一、貸出しの中には係員一同の合議か公民館審議会の忠告かは知らぬが、かつては削除抜萃してある処を見るが、これらは出來得る限りその本の読み方指導や解説等を書いたものをもその本の頭書に添付してありのまま貸出して読書者の読む目を養う様留意しなければならぬ。

一、常に文庫利用者の輿論をつかみその欲求をみだす様努力する事。

以上参考までに私の所感を述べましたが、係員の折角の努力をかへり見ず、暴言を呈したと感ぜられましたら御勘弁下さい。

文庫への希望

古俣 保

籠球部練習開始

バスケットボール部が訪れました。寒気を吹きとばして私共は練習をば左みましよう。遠慮なく練習を開始致しますから十二月十日より毎日午後七時三十分より場所 巻小学校公民館体育部 籠球クラブ

一、常に見受けられる隙があり、利用者や学生と定まつた一部の青年に留まつてゐるのも巻町文庫が未だ大衆化せず、町民の爲の必要なる機関になりきつてをらぬからではなからうか。この点について係員諸君の層の努力が必要であると思ひ、文庫設立発起人であつた私の見聞して感じた事を一、二述べて参考に資したい。

一、利用者がもつと明るい気持で本當に自分達の文庫であり、自分達の本だと云ふ感じで利用出來得る様に留意する事。

二、公民館の文庫図書購入費の充分の活用を期し、利用者の一層の便宜を計る事。

一、新刊本購入後の迅速なる貸出しを期す事。折角購入した新刊本を一二月もかかつてやつと貸出す様では利用者の欲求に答へる事が出来ぬのみか、利用者をして興ざめさせる。もつと分類を迅速にやらねばならぬ。

一、読書会や図書研究委員会等を設け、読書指導の徹底を計る事。

一、貸出しの中には係員一同の合議か公民館審議会の忠告かは知らぬが、かつては削除抜萃してある処を見るが、これらは出來得る限りその本の読み方指導や解説等を書いたものをもその本の頭書に添付してありのまま貸出して読書者の読む目を養う様留意しなければならぬ。

一、常に文庫利用者の輿論をつかみその欲求をみだす様努力する事。

以上参考までに私の所感を述べましたが、係員の折角の努力をかへり見ず、暴言を呈したと感ぜられましたら御勘弁下さい。

巻中だより 十二月曆

行事	職員活動	児童活動	T	T	A
鼠駆除 (四六年)	5日 日目標構成委員 学年会	2日 全校協議会	全校	P	高学年
鼠除 (三年)	6日 冬休計画 冬休計画	12月をどう暮らしたらいかが	(A)	各学年	(18)
鼠除 (二年)	7日 研究部係会 冬休計画	児童委員会 冬休計画	特別委員	各学年	
鼠除 (一年)	8日 職員会議 冬休計画	冬休計画	各学年		
衛生検査 (四六年)	9日 職員会議 冬休計画	冬休計画			
衛生検査 (三年)	10日 職員会議 冬休計画	冬休計画			
衛生検査 (二年)	11日 職員会議 冬休計画	冬休計画			
衛生検査 (一年)	12日 職員会議 冬休計画	冬休計画			
体重測定 (四六年)	13日 職員会議 冬休計画	冬休計画			
体重測定 (三年)	14日 職員会議 冬休計画	冬休計画			
体重測定 (二年)	15日 職員会議 冬休計画	冬休計画			
体重測定 (一年)	16日 職員会議 冬休計画	冬休計画			
第一期 冬休計画	17日 職員会議 冬休計画	冬休計画			
第二期 冬休計画	18日 職員会議 冬休計画	冬休計画			
第三期 冬休計画	19日 職員会議 冬休計画	冬休計画			
第四期 冬休計画	20日 職員会議 冬休計画	冬休計画			
第五期 冬休計画	21日 職員会議 冬休計画	冬休計画			
第六期 冬休計画	22日 職員会議 冬休計画	冬休計画			
第七期 冬休計画	23日 職員会議 冬休計画	冬休計画			
第八期 冬休計画	24日 職員会議 冬休計画	冬休計画			
第九期 冬休計画	25日 職員会議 冬休計画	冬休計画			
第十期 冬休計画	26日 職員会議 冬休計画	冬休計画			
第十一期 冬休計画	27日 職員会議 冬休計画	冬休計画			
第十二期 冬休計画	28日 職員会議 冬休計画	冬休計画			
第十三期 冬休計画	29日 職員会議 冬休計画	冬休計画			
第十四期 冬休計画	30日 職員会議 冬休計画	冬休計画			
第十五期 冬休計画	31日 職員会議 冬休計画	冬休計画			